

ソーラス  
来日記念  
上映

仕事さえあれば、何も怖くなんかなかった…

ニューヨーク発展を象徴する一枚の写真に隠された  
アイルランド移民の知られざる真実

# 空中ランチ

Men At Lunch

逆境に追い込まれたとき

逃げ場がなくなったとき

それでも人は心の中に闘う意志を残している



4/18(金)

18:30 開場 19:00 開演

5/6(火・祝)

13:30 開場 14:00 開演

会場 ■ 燃津文化会館 小ホール

全席自由 500円 ※当日券のみ ※未就学児入場不可

監督: ショーン・オ・クーローン 音楽:マイケル・マクゴールドリック

アイルランド 2012年 57分 英語(日本語字幕)

企画/宣伝: プランクトン 協力: アイルランド大使館

問: プランクトン 03-3498-2881 <http://plankton.co.jp/lunch/>



# 20世紀初頭にアイリッシュ移民が経験した数々の努力・苦労・困難、そして喜び。 人間の不屈の精神、前に向かう意志を呼び起す、歴史と啓発のドキュメンタリー！

歴史的な写真の起源と謎への、画期的かつ感動的な探究。  
—— New York Daily News

魅惑的にして、啓発的。このドキュメンタリーは、観たものを一瞬で思惟へと誘う。  
—— The New York Times

あるいは調査的であり、あるいは移民の体験へのオマージュであり、究極的には過酷な労働への純粋な賛美である。

—— Time Magazine

この作品は感性を呼び起こし、逆境に立ち向かう意志を示してくれる。  
—— SBCC film review

「空中ランチ」は移民の体験を讃え、観たものすべてに高揚感を与える。  
—— Variety



## <ストーリー>

この映画は、20世紀の初頭、ニューヨークの高層ビル建設に携わっていた移民労働者達のドキュメンタリーだ。

69階、地上250メートルの作業場で、命綱もなしにランチ休憩を取る労働者の様子を捉えた一枚の衝撃的な写真。

この写真については、すべてが長い間謎に包まれていた。「この人たちは誰だ?」「合成写真ではないか?」「誰が撮影したんだ?…

ニューヨークを象徴するこの写真の真実を明らかにするため、2000年代に入ってから本格的な調査が進められた。しかし調査は難航、手がかりはなかなか見つからなかった。しかしある日、突然意外なところから新たな情報がもたらされた。それは、アイルランド西部にある、シャナグリッシュという小さな村だった…。

## アメリカにおける、アイリッシュ移民

19世紀末から20世紀初頭にかけて、未曾有の大飢餓や疫病、イギリスの圧政などに喘いでいたアイルランド人達は、アメリカ大陸に次々と移民していく。アイルランドの人口は850万から420万と、たった半分にまで激減。命からがら極貧から逃れて来た移民達だが、アメリカでも満足に仕事にありつけなかった。職業斡旋所に「アイルランド人お断り」のビラが溢れる中、彼らに残されたのは常に死と隣り合わせの危険な労働だけ。

そういった過酷な環境でもアイリッシュ達は懸命に生き抜き、逆境の中、不屈の精神で自分達の文化やアイデンティティをアメリカに根付かせてきた。現在、アメリカのアイルランド系人口は4千万人以上と言われており、各方面で活躍している。毎年、3/17のアイルランドの祝日=セント・パトリックス・デーにはNYでアイリッシュ系による世界最大規模のパレードが行われている。



映画「空中ランチ」の半券をご持参いただきますと、下記のソーラス来日公演「シャムロック・シティ・コンサート」を500円引きにてお求めいただけます。ぜひ映画とコンサートを合わせてお楽しみください。

## 関連コンサート

### アイリッシュ・アメリカン・ストーリー①

## ソーラス来日公演「シャムロック・シティ・コンサート」

アイリッシュ移民としてのアイデンティティとその足跡を伝える  
世界最高峰のアイリッシュ・アメリカン・バンド来日決定！

5/30(金) 18:30開場 19:30開演

全席指定■4,000円（税込）※未就学児入場不可

会場■焼津文化会館 小ホール

問:焼津文化会館054-627-3111

好評  
発売中

